

エッジからクラウドまでをカバーする、ファイルとオブジェクトのスケールアウトストレージ

非構造化データの増加がレガシーサイロを圧迫する

ガートナーによると、今後5年間でデータが800%増加し、その80%が、共有、バックアップ、アーカイブ、ログ、メディアファイル、テスト/開発、分析などの構造化されていないデータになります。こうしたデータのユースケースとして、従来のネットワーク接続ストレージ (NAS) が10年以上前に開発されましたが、これらのワークロードのすべてに1つで対応可能なソリューションはありません。非構造化データの特定のサブセットワークロード向けに、異なるベンダーのソリューションが最適化され、拡張を妨げています。このことが、異なるソフトウェアとライセンスを使用して専用のハードウェアで実行される多くのストレージサイロにつながっています。

セカンダリストレージ

バックアップ、アーカイブ、ファイル共有、ログ、メディアファイル、テスト/開発、分析などのワークロードは、ミッションクリティカルではありませんが、企業のストレージ容量の大部分を消費しています。こうしたワークロードは、セカンダリストレージに分類できますが、それには2つの理由があります。1つは、これらのデータが本番環境にないこと、もう1つは、こうしたワークロードには通常、厳密なSLAの要件がないことです。しかし、セカンダリストレージの予算は企業のITにとって大きな負担となり、一般にプライマリストレージに必要な予算を超えています。しかも、こうしたインフラストラクチャは、断片化し、複雑で管理しにくく非効率なため、その運用コストが高くなります。

クラウド時代のファイルとオブジェクトを再考する

セカンダリストレージの課題は、専用のソリューションをさらに繰り返しても解決できません。ネットワーク接続ストレージ (NAS) の普及後10年間に生じた根本的な変化を考慮した新たなアーキテクチャーが必要です。データの急増やWebスケールの要件に対応したり、パブリッククラウドとプライベートクラウドをシームレスに統合したりできるアーキテクチャーが必要なのです。

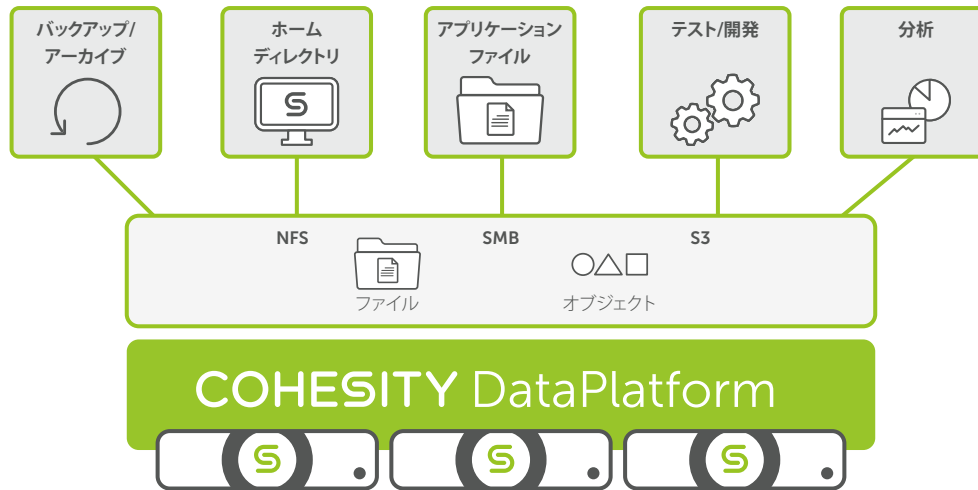
Cohesityは、Googleに端を発する革新的で新たなアーキテクチャーを実現します。Cohesity DataPlatformは、単一かつWebスケールのプラットフォームにすべてのファイルとオブジェクトを統合して、セカンダリストレージをシンプル化します。

主要なメリット

- ファイルとオブジェクトを単一のプラットフォームに統合して拡張可能
- 成長に応じて料金を支払うモデルとWebスケールによる容易な拡張
- 主要なパブリッククラウドへのネイティブ統合など、クラウドに対応
- コールドデータまたはストリーミングデータを5~10倍圧縮し、ストレージを効率化
- データを有効活用し、アプリケーション開発を加速

「企業やクラウドのデータセンターで稼働するスケールアウトストレージシステムに保存される企業のデータは、2021年までに現在の30%から80%以上にまで増加すると見られています」。

GARTNER社



Cohesity DataPlatformは、非構造化データを大規模に管理できるように最適化した専用の分散ファイルシステム、SpanFS™によって動作します。SpanFSは、グローバル重複排除、厳密な整合性、SnapTreeによる無制限のスナップショットおよびクローン、パブリッククラウドとのネイティブ統合といった機能を連携できる唯一の分散ファイルシステムです。

容易な拡張

企業のディレクトリ、メディアコンテンツ、分析などのそれぞれに、複数ベンダーによるファイルとオブジェクトの専用ストレージを使い分けている企業が少なくありません。Cohesityは、こうしたワークロードのすべてを、スケールアウトした単一のプラットフォームに統合します。Cohesity DataPlatformでは、データセンターから、エッジ、クラウドに至るすべての環境において、NFS、SMB、S3のマルチプロトコルで同じデータボリュームに同時にアクセスし、読み取りと書き込みを行えます。

Webスケール

レガシーストレージでは、今まさに必要なプロビジョニングや、十分に活用されていないコンピューリソースの共有を行えません。Cohesityは、無制限に拡張できる真のWebスケールソリューションです。成長に応じて料金を支払うモデルによって3ノードから開始し、利用状況を自動的に最適化しながら、拡大するビジネス要件に応じてノードを増やすことができます。

Cohesity DataPlatformは、厳密な整合性と、データの広範な耐障害性を保証する唯一のソフトウェア デファインド ストレージソリューションです。

クラウド対応

レガシーストレージシステムは、クラウド優先の環境向けには開発されていません。クラウドゲートウェイの追加には費用がかかり、環境も複雑になります。Cohesityなら、Amazon Web Services、Microsoft Azure、Google Cloud Platformとネイティブに統合して、パブリッククラウドの優れた経済性と柔軟性を活用できます。

ストレージ効率

レガシーシステムでは、ノードレベルまたはブロックレベルのみでの重複排除によりストレージ効率に限界があるため、ストレージ費用が著しく増加します。Cohesityでは、可変長のグローバル重複排除に加えて、優れた圧縮とイレイジャーコーディングを実現できます。これにより、投資のすべてを最大限に活かすことができます。

データの有効活用

レガシーソリューションとは異なり、Cohesityでは、データを有効に活用できます。Cohesity DataPlatformでは、費用をかけずにクローンを瞬時にプロビジョニングして、Cohesityでテスト/開発環境として稼働させ、アプリケーション開発を加速できます。これにより、不要なデータコピーがなくなるとともに、データセンターの設置面積を縮小できます。

ソフトウェア デファインドによる柔軟な展開

真のソフトウェア デファインド ストレージである、Cohesity DataPlatformは、お客様のニーズを満たすさまざまな方法で柔軟に展開できます。お客様のデータセンター向けにテストおよび事前構成されたCohesity C2000またはC3000/ハイパーコンバージド アプライアンスをお選びください。または、あらかじめ要件を満たしたCiscoまたはヒューレット・パッカードエンタープライズ (HPE) のサーバーで同じ性能を得られます。ブランチやリモートオフィスには、Cohesity Virtual Editionを使用して、リモートから迅速に展開できます。さらに、パブリッククラウドの柔軟性が必要な場合に、Cohesity Cloud Editionを選択することもできます。

主要な機能

機能	説明
NFSv3、CIFS、SMB2.x、SMB 3.0、S3 API	同じデータにマルチプロトコルでアクセスできることにより、Microsoft Windows、Linux、S3 APIなど、すべての主要な企業オペレーティングシステムで稼働するアプリケーションをサポート可能
厳密な整合性	データの耐障害性を大規模に保証
SnapTree®によるスナップショットおよびクローン	きめ細かいCohesity View (ファイルシステム) 向けに完全にハイドレーションされた無制限のスナップショットに加え、ビューベースのデータセットを瞬時に作成したり、そうしたデータセットのテストと開発を行ったりできる書き込み可能なスナップショットクローン
Webスケールのファイルシステム	制限のない拡張性、常時稼働、中断を伴わないアップグレード、成長に応じて支払うモデル
ハイパーコンバージド セカンダリストレージ	データ保護、ファイル、オブジェクト、テスト/開発、分析のための単一プラットフォーム
グローバル重複排除とグローバル圧縮	すべてのクラスターノードをグローバルに重複排除および圧縮することで前例のないストレージ効率を実現し、データセンターの設置面積を大幅に縮小
イレイジャーコーディング	ノード全体でのイレイジャーコーディングにより、いずれの個々のノード障害からもデータを保護
グローバルインデックスと検索	ファイルとオブジェクトのメタデータは、取り込まれる際にインデックスがつくため、クラスター内のファイルすべてをGoogleのように検索可能
混合モードのパーミッションマッピング	Cohesityは、パーミッションマッピングを管理し、Centrifyともネイティブに統合。Centrifyにより、CentrifyのADに保存されたIDマッピング情報にCohesityが直接アクセス可能に。これにより、LDAPプロキシが不要になり、ユーザーエクスペリエンスのシンプル化を実現

Windows Active DirectoryとKerberosを統合したロールベースアクセス制御 (RBAC)	Windows ADとKerberosの仕組みによる認証情報とパーミッションを活用して、ユーザーとグループのデータへのアクセスをシンプル化。また、ドメインのユーザーとグループに対する、Cohesityクラスターの管理者権限を作成および管理可能
外部KMS統合	Cohesityのファイル共有をMMCで管理できるようにする、Microsoft管理コンソールのスナップイン
クォータ	監査ログを使用する、ユーザーとファイルシステムのクォータを簡単に設定可能
ポリシーベースのバックアップデータ保護	統合されたデータ保護ソフトウェアとSnapTreeテクノロジーを利用することで、完全にハイドレーションされたスナップショットによりオブジェクトデータを簡単に保護
サービス品質 (QoS)	さまざまなタイプのワークロードのパフォーマンスを最適化するQoSポリシーを作成可能
暗号化	Cohesityのソリューションでは、保存データと移動中のデータの両方を業界標準の256ビットAdvanced Encryption Standard (AES) アルゴリズムで暗号化。またCohesityのプラットフォームはFIPS 140-2に準拠
Write Once Read Many (WORM)	ロック期間中オブジェクトを変更できないポリシーを要求するコンプライアンス管理上のデータを長期間保持可能
ディザスタリカバリに備えたレプリケーション	セキュアできめ細かい組み込みのレプリケーションサービスにより、地理的冗長性を確保
クラウド統合 (CloudArchive、CloudTier、CloudReplicate)	パブリッククラウドサービスによりデータをアーカイブして長期保持。クラウドの階層を活用した、クラウドへの透過的な容量拡張。レプリケーション先にクラウドを指定し、ディザスタリカバリ、テスト/開発に利用